TOYOTOMI トヨストーブ

《純正部品》替しん **TTS-29**

トヨ耐熱しん 第29種

石油燃焼機器用しん 取扱説明書

●しんの交換をする前に、必ずこの「取扱説明書」を読んで、正しくおこなってください。（しん交換のしかたがわからない場合は、販売店にご相談ください。）

商品コード	11027807
品名	タイネツシンクミタテ

適合する機器の型式表	参照
RCA-70～72・74～76・200・201・203～208・261～264・371～374, RC-266PC・267S・269S・261S・2601・283S・P235E, R-265・266・375, RS-L21・L27・921・293, KRS-L21・L27・211, NT-181～189・231～237・1800・21・P1801・P1802, KR-266・375, CR-180, CS-21, KGP-21・27・1800・2300, PS-234JIK・235JIK・238JIK・27AJIK・K21・K27, KS-L21, BRS-210, UT-L21, HRS-L21・234	①
RCA-202	②
RCA-300・301, R-50・51, RS-H27・H293E・H295E・H297E・H298E・H299E・H29B・H29C・H29D・H29E, KRS-H297E	③
RS-D294・D298E・D299E	④
RS-S29A・S29B・S29C・S29D・S29E, NT-S29C・S29D	⑤

替しんの型式名	トヨ耐熱しん第29種	種類	普通筒しん
呼び寸法	φ65×2.5	からやきの可否	からやき可

T4963505999315

JIS S 2038
石油燃焼機器用しん

品番：1518001619

製造 SILVER SIM

株式会社 トヨトミ

株式会社 トヨトミ
ホームページ http://www.toyotomi.jp
本社 〒467-0855
名古屋市瑞穂区桃園町5番17号
フリーコール 0120-104-154
TEL 〈052〉822-1144
FAX 〈052〉822-2742

1518000625

E-Ⓑ

■特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）

ここに示した事項は ⚠注意 を表示しています。

⚠注意：｛この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。｝

❗マークは「指示」 🚫マークは「接触禁止」

⚠注意（CAUTION）

★適合する機器の確認
適合する機器の型式の呼びが合っていることを確認してください。
予想もしない事故が発生するおそれがあります。 ❗確認

★保護具の着用
機器の分解時は、保護具（手袋など）を着用してください。
誤ってけがをするおそれがあります。 ❗指示

★高温部に注意
必ずストーブを消火し、ストーブの温度が充分に下がってからおこなってください。
やけどのおそれがあります。 🚫接触禁止

★乾電池を取りはずす
必ずストーブの乾電池を取りはずしてからおこなってください。
やけどや感電のおそれがあります。 ❗指示

★廃棄するとき
交換したしんは乾燥させてからビニール袋に入れて廃棄してください。
廃棄処理の際、予想しない事故が発生するおそれがあります。
灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。 ❗指示

お願い（NOTICE）

★しん取り付け後の確認
- しん上下操作をして、しんの上下が円滑にでき、しんの高さが規定寸法どおり均一にそろっていることを確かめてください。
- 対震自動消火装置を作動させて、しんが確実に下がることを確かめてください。
- 点火操作をして、正常に燃焼することを確かめてください。

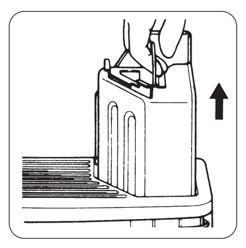
★変質灯油や不純灯油に注意
変質した灯油、不純灯油、汚れた灯油、水のまじっている灯油などを使用しないでください。
異常燃焼や故障（点火しにくくなる、しんが下がらなくなる、火が消えなくなる、など）の原因となり、しんの寿命が短くなります。

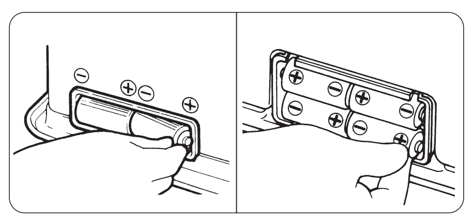
★この耐熱しんの上端部は、特殊な材料の繊維を使用していますので、糸のほつれ程度を切るだけで先端を「はさみ」などで切らないでください。

★しんを交換したときは、給油後、約20分以上待って、しんに灯油が充分に吸い上げられてから点火してください。充分に吸い上げられていない状態で点火しますと、しんを傷めます。

適合する機器の型式表 の 参照 ① の機種

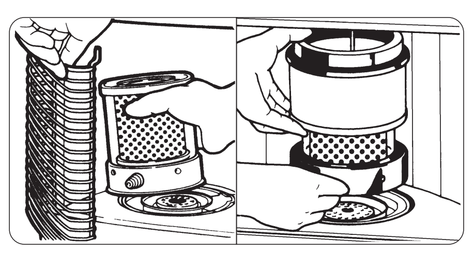
1 油タンクと乾電池を、取り出してください。



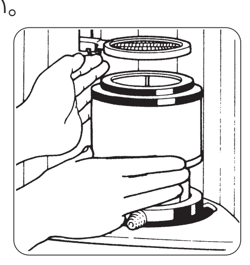


2 緊急消火ボタンまたはレバーを操作して、対震自動消火装置を作動させてください。

3 ガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。

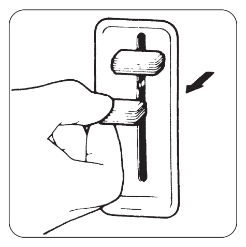


■燃焼筒の上に脱臭フィルターがついているタイプは、脱臭フィルターのアームを少し持ち上げて、燃焼筒を取り出してください。

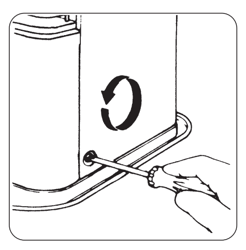


■しん調節つまみと点火つまみを引き抜いてください。

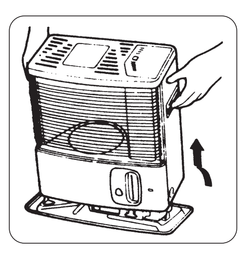
・セーフティドアがついているタイプは、引き抜く必要はありません。



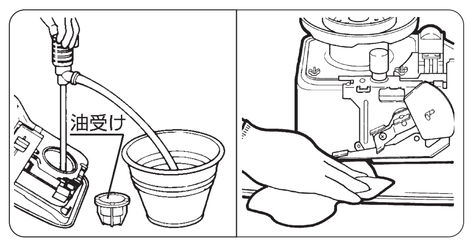
4 本体の両側面と背面にある止めねじ3本をはずしてください。



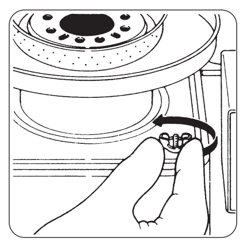
5 本体を前方に傾けてから、ゆっくりと上方に持ち上げて取りはずしてください。



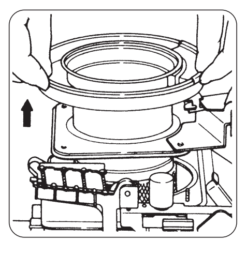
6 油受けざらにある油受けを取りはずし、市販の給油ポンプで、油受けざら内の灯油を抜き取ってください。
残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。
置台と油受けざらの隙間のほこり、ごみを取りのぞいてください。



7 しん調節器の蝶ナット4本を、取りはずしてください。

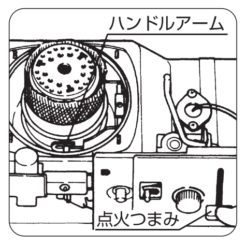


8 しん調節器を、ゆっくりと上へ持ち上げて取り外してください。
●点火装置のコードを引っ張らないように、ゆっくりと取りはずしてください。作業しにくい場合は、コードを電池ケース等からはずしてください。



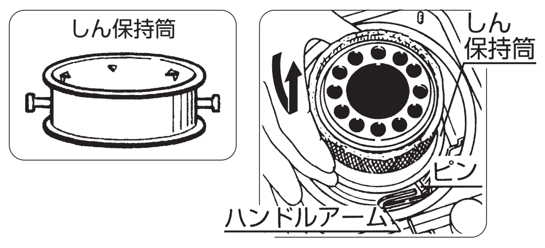
9 点火つまみ（または点火レバー）を押し下げ、ハンドルアームを上げてください。

お願い
そのときハンドルアームが、ほぼ水平の位置にあることを確認してください。

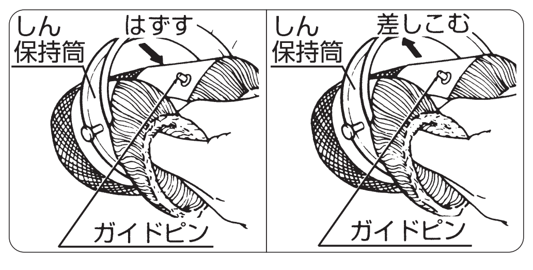

ハンドルアーム
点火つまみ

10 しん保持筒を持って、ハンドルアームの溝から、しん保持筒のピンを左（↺）に回して取りはずしてください。

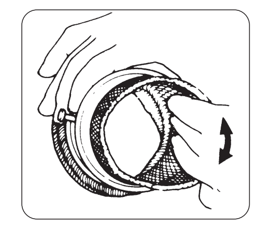
お願い
抜け止めのために、少し重い箇所がありますので、指を滑らせてケガをしないように、慎重におこなってください。


しん保持筒
しん保持筒
ピン
ハンドルアーム

11 古いしんを4つ折りにするようにして、しんのガイドピンをしん保持筒からはずします。
新しいしんを軽く4つ折りにするようにして、しんのガイドピンを、しん保持筒の穴に差し込んでください。

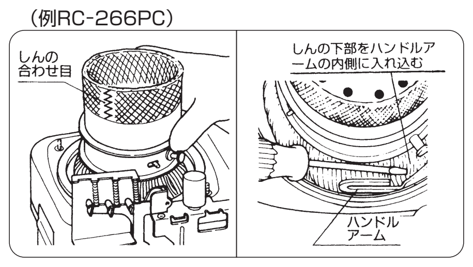

しん保持筒
はずす
ガイドピン
しん保持筒
差しこむ
ガイドピン

12 しんを、しん保持筒の内側に指で押しつけながら充分になつかせてください。
充分になつかせないと、対震自動消火装置が作動したときに、しんが下がらないことがあります。



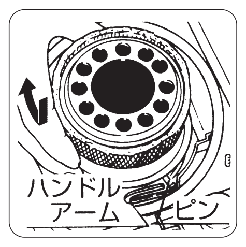
13 しんの合わせ目が、向かって左側にくるようにして、しんをしん案内筒に通してください。しんの下部をハンドルアームの内側に入れ込んでください。

（例RC-266PC）

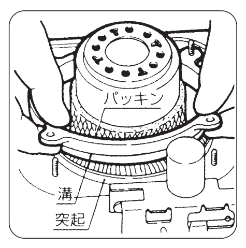

しんの合わせ目
しんの下部をハンドルアームの内側に入れ込む
ハンドルアーム

14 しん保持筒のガイドピンをハンドルアームの溝に、しん保持筒を右（↻）に回してはめ込みます。

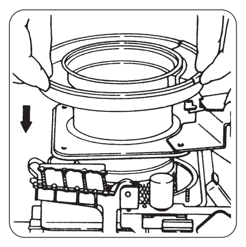
お願い
ハンドルアームが下がっていたら、点火つまみ（または点火レバー）を押し下げ、ハンドルアームを水平にしてください。



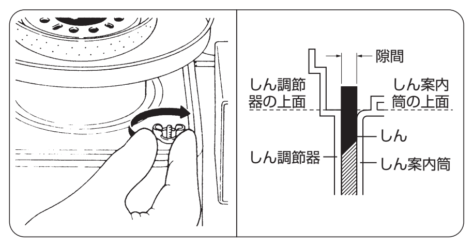
15 しん調節器パッキンの溝が、油受けざらの突起に確実に入っていることを確認してください。



16 しん調節器を、元通りにかぶせてください。

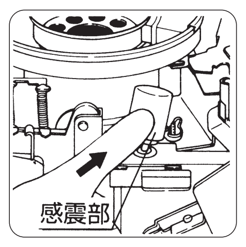


17 しん案内筒としん調節器の隙間が全周揃っている所で、しん調節器の蝶ナット4本を、対角線上に各々2本づつを均等に締めてください。
片側を締め付けるのではなく、4本を徐々に締めてください。
しんの高さが均一に揃っていることを、確かめてください。
しん調節器の上面としん案内筒の上面（燃焼筒ののる面）の高さが揃っていることを確認してください。
（揃いが悪いと炎が片燃えします。）

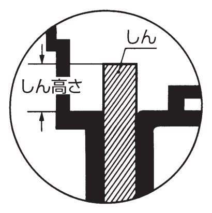


18 しんを上げ、感震部を押して対震自動消火装置を作動させ、しんがスムーズに確実に下がるかどうか、2～3回確認してください。

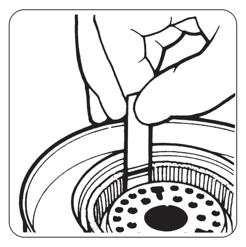
お願い
しんがスムーズに完全に下がらないときは、しんのなつかせかたが悪いためです。もう一度2ページの12項からやり直してください。



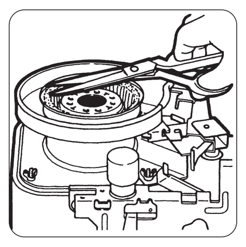
19 しんをいっぱいに上げたとき（でるでる芯の機能がある時は①の高さ）の芯の高さを、22ページ **各型式のしんの高さ** を参照して確認してください。



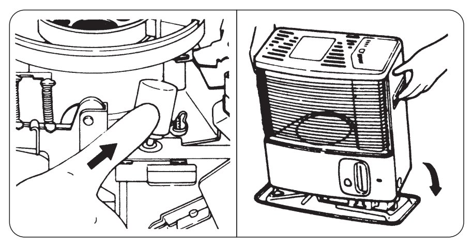
●**しん高さ確認ゲージ**を使用して、しんの高さを確認してください。



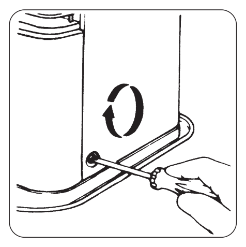
●しん上端の糸のほつれなどは、はさみで切りそろえてください。



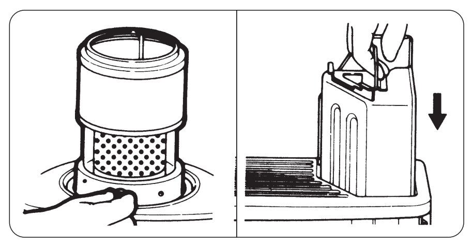
20 感震部を押して、対震自動消火装置を作動させてから、本体をかぶせます。
■2ページの**8**項で、コードをはずした場合は⊕⊖を間違えないようにもとどおりに差し込んでください。



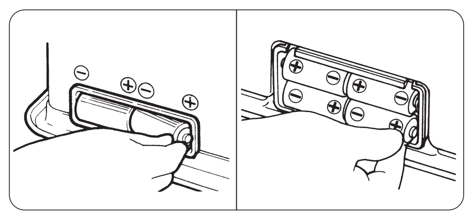
21 本体両側面と背面を止めねじ3本で固定してください。



22 ガードを開けて、燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じてから、油タンクを本体に入れてください。
■1ページの**3**項で、しん調節つまみと点火つまみを取りはずした製品は、しん調節つまみと点火つまみを、正しく取り付けてください。



23 乾電池を、電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。



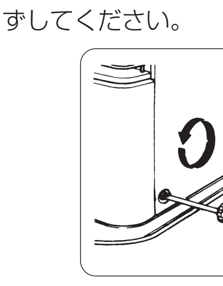
●乾電池の入れ方が⊕⊖逆ですと、点火できなかったり、点火しにくくなります。

24 油タンクに給油してから20分以上待って、しんに灯油が充分吸い上げられてから点火操作をして、脱臭フィルターや、各部がスムーズに作動し、正常に燃焼することを確認してください。

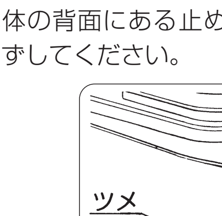
適合する機器の型式表 の 参照 ② の機種

1 1ページの**1**項から**3**項を参照して、おこなってください。

2 本体の両側面にある止めねじ2本をはずしてください。



3 前板の両側面のツメを本体の溝からはずしながら、前板を、下に引くように取りはずしてください。
本体の背面にある止めねじ1本を取りはずしてください。



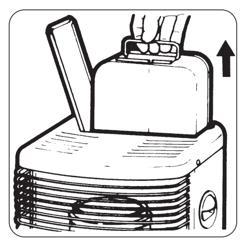
4 以降は、2ページ**6**項から3、4ページ**19**項を参照して、しんを交換してください。

5 本体をかぶせ、前板を取り付けてから、本体の両側面と背面を、止めねじ3本で固定します。

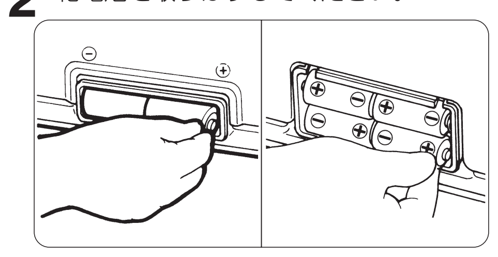
6 以降は、4ページ**22**項から5ページ**24**項を参照して、おこなってください。

適合する機器の型式表 の 参照 ③ の機種

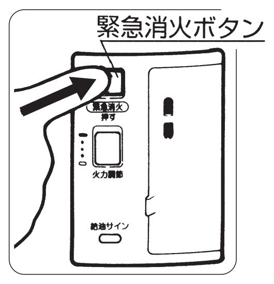
1 油タンクを取り出してください。



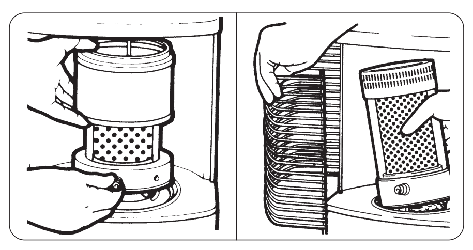
2 乾電池を取りはずしてください。



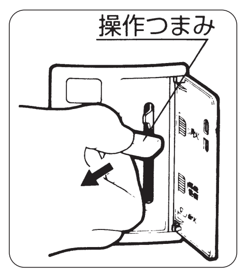
3 緊急消火ボタンまたは消火ボタンを押して芯を下げてください。


緊急消火ボタン
緊急消火 押す
火力調節
給油サイン

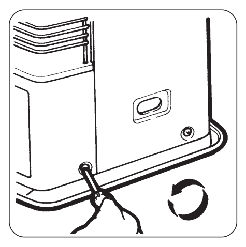
4 ガードを開けて、燃焼筒を取り出してください。



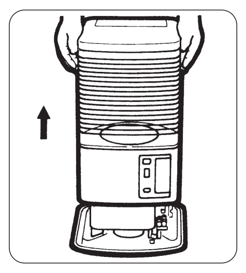
5 操作扉を開けて、操作つまみを引き抜いてください。（操作扉の無い型式もあります。）



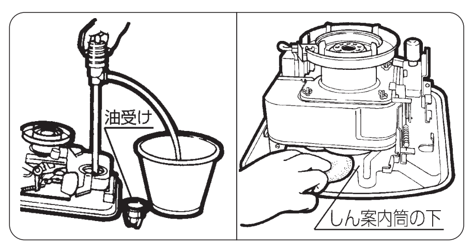
6 本体の両側面にある止めねじ4本をはずしてください。



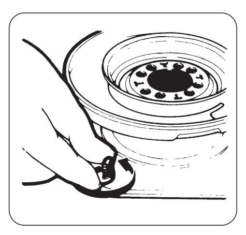
7 本体を、ゆっくりと上方に持ち上げて取りはずしてください。



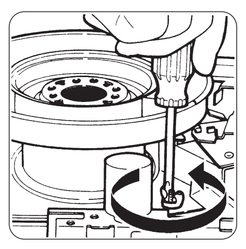
8 油受けざらにある油受けを取りはずし、市販の給油ポンプで、油受けざら内の灯油を抜き取ってください。
残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。
置台と油受けざらの隙間のほこり、ごみを取りのぞいてください。



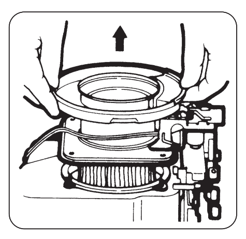
9 しん調節器の蝶ナット4本を取りはずしてください。



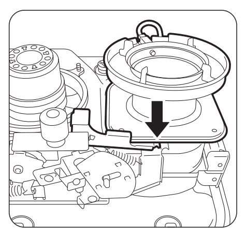
●蝶ナットが回しにくい場合は、下図のようにドライバーなどを使って、回して取りはずしてください。



10 しん調節器を、ゆっくりと上へ持ち上げて取りはずしてください。
●点火装置のコードを引っ張らないように、ゆっくりと取りはずしてください。作業しにくい場合は、コードを電池ケース等からはずしてください。

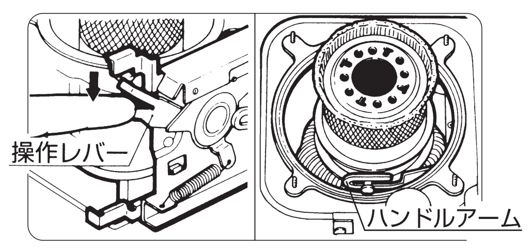


■RS-H299E・H29B・H29C・H29D・H29Eの場合は、取りはずしたしん調節器を給油時消火装置の上へのせてください。



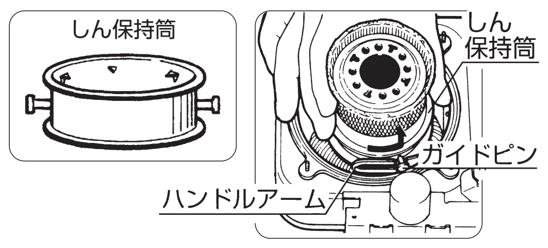
11 操作レバーを押し下げ、ハンドルアームを上げてください。

お願い
このとき、ハンドルアームが、ほぼ水平であることを確認してください。

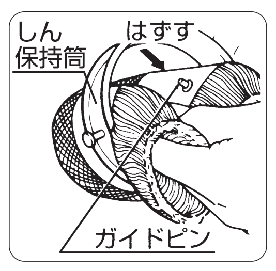

操作レバー
ハンドルアーム

12 しん保持筒を持って、ハンドルアームの溝からしん保持筒のガイドピンを、左（↺）に回して取りはずしてください。

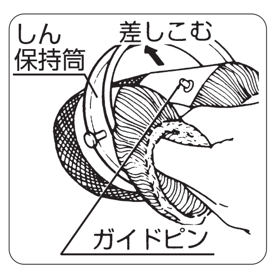
お願い
抜け止めのために、少し重い箇所がありますので、指を滑らせてケガをしないように、慎重におこなってください。


しん保持筒
しん保持筒
ガイドピン
ハンドルアーム

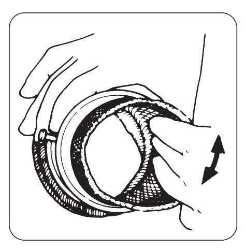
13 古いしんを4つ折りにするようにして、しんのガイドピンをしん保持筒からはずし、しんを下へ引き抜いてください。


しん保持筒
はずす
ガイドピン

14 新しいしんを、軽く4つ折りにするようにして、しんのガイドピンをしん保持筒の穴に差し込んでください。

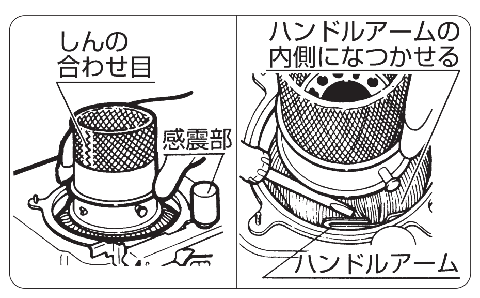

しん保持筒
差しこむ
ガイドピン

15 しんを、しん保持筒の内側に指で押しつけながら充分になつかせてください。
充分になつかせないと、対震自動消火装置が作動したときに、しんが下がらないことがあります。

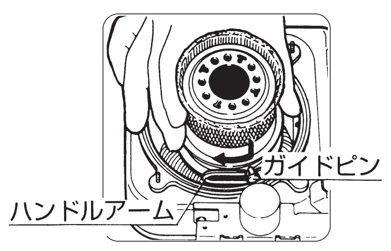


16 しんの合わせ目が、点火装置の近くにならないようにして、しんをしん案内筒に通してください。

●しんの下部を、ハンドルアームの内側に充分になつかせてください。

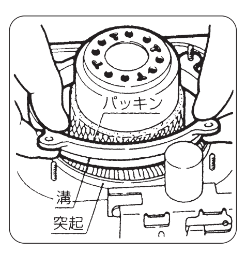

しんの合わせ目
感震部
ハンドルアームの内側になつかせる
ハンドルアーム

17 しん保持筒のガイドピンを、ハンドルアームの溝に、しん保持筒を右（↻）に回してはめ込んでください。


ガイドピン
ハンドルアーム

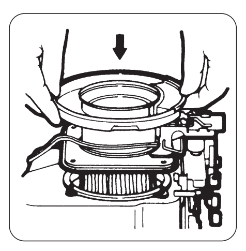
お願い
ハンドルアームが下がっていたら、操作レバーを押し下げ、ハンドルアームを水平にしてください。

18 しん調節器パッキンの溝が、油受けざらの突起に確実に入っていることを確認してください。

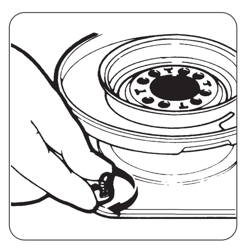


19 しん調節器を、元通りにかぶせてください。

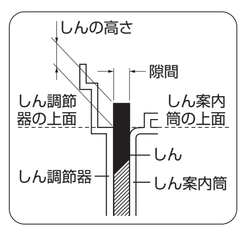
■**RCA-300・301の場合は、**点火装置のリード線が、しん調節器の左手前を回り込むようにしてください。



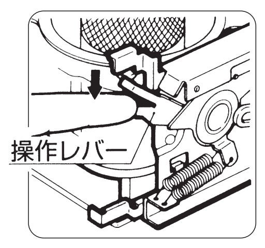
20 しん案内筒としん調節器の隙間が全周揃っている所で、しん調節器の蝶ナット4本を、対角線上に各々2本づつを均等に締めてください。
片側を締め付けるのではなく、4本を徐々に締めてください。



21 しん調節器の上面としん案内筒の上面（燃焼筒ののる面）の高さが、揃っていることを確認してください。
（揃いが悪いと炎が片燃えします。）



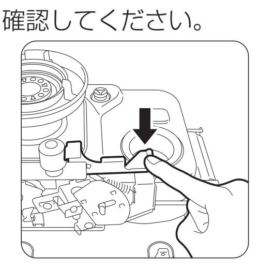
22 操作レバーを押し下げ、しんを上げてください。



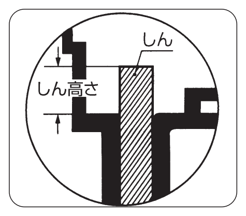
感震部を押して消火装置を作動させ、しんがスムーズに確実に下がるかどうか、2～3回確認してください。

お願い
しんの上下がスムーズでない場合は8ページの15項からやり直してください。

■RS-H299E・H29B・H29C・H29D・H29Eの場合は、給油時消火装置を指で押さえる等して確認してください。

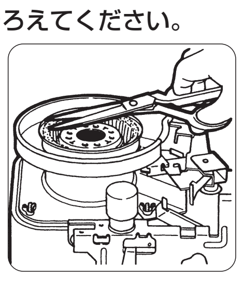


23 しんをいっぱいに上げたとき（でるでる芯の機能がある時は①の高さ）の芯の高さを、22ページ **各型式のしんの高さ** を参照して確認してください。

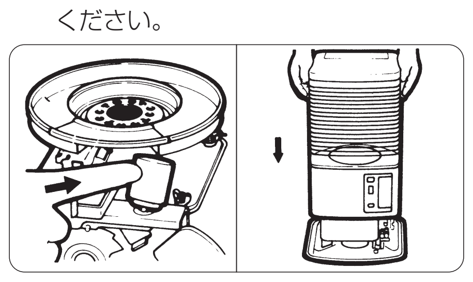


●**しん高さ確認ゲージ**を使用して、しんの高さを確認してください。

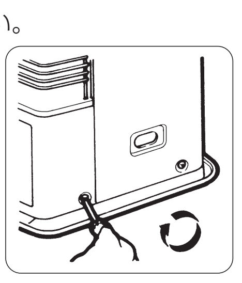
●しん上端の糸のほつれなどは、はさみで切りそろえてください。



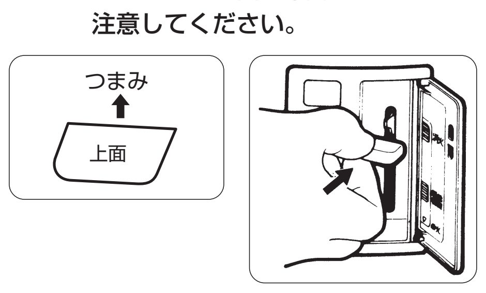
24 対震自動消火装置の感震部を押して、対震自動消火装置を作動させてから、本体をかぶせてください。
7ページの**10**項で、コードをはずしている場合は元通りに差し込んでください。



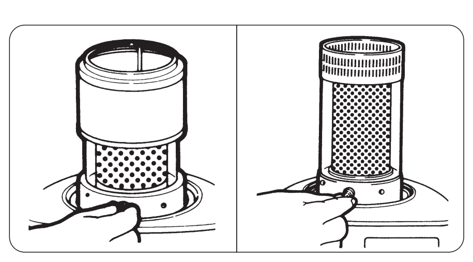
25 本体両側面の止めねじ4本で固定してください。

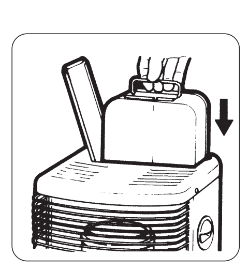


26 6ページの**5**項で取りはずした操作つまみを、取り付けてください。
●つまみには上面、下面がありますので注意してください。

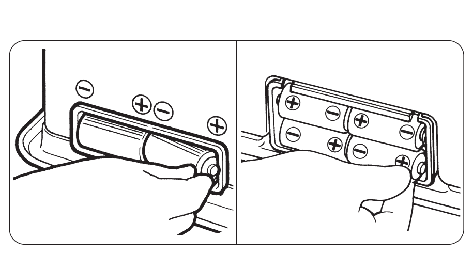


27 ガードを開けて、燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットしてください。
ガードを閉じて、油タンクを本体に入れてください。





28 乾電池を、電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。

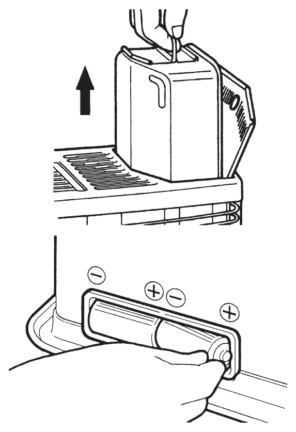


●乾電池は必ず正しい位置に入れてください。乾電池の入れ方が⊕⊖逆ですと、点火できなかったり点火しにくくなります。

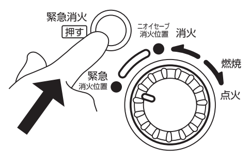
29 油タンクに給油してから20分以上待って、しんに灯油が充分吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに作動し、正常に燃焼することを確認してください。

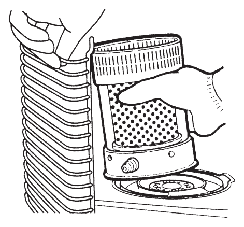
適合する機器の型式表 の 参照 ④ の機種

1 油タンクと、電池ケースから乾電池を取り出してください。

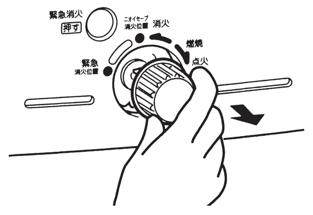


2 **「緊急消火ボタン」**を押して、対震自動消火装置を作動させてから、ガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。

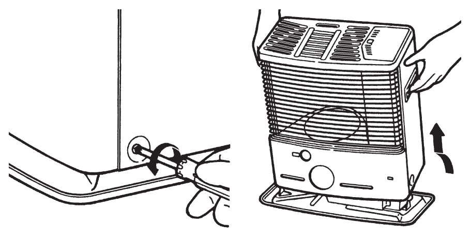




3 **「しん調節つまみ」**を引き抜いてください。

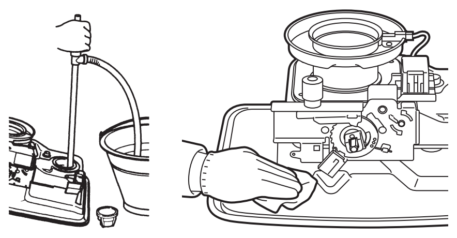


4 本体の両側面と背面にある止めねじ3本を、左に回して取りはずしてください。本体を前方に傾けながら、ゆっくりと上方に持ち上げて取りはずしてください。



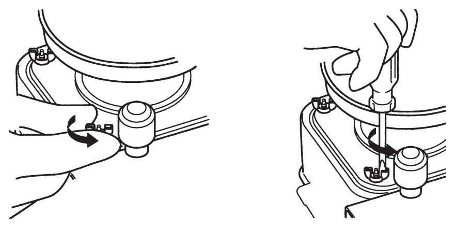
5 油受けざらにある油受けを取りはずし、市販の給油ポンプで、油受けざら内の灯油を抜き取ってください。

- ●**残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。**
- ●**取りはずした油受けを元通りに油受けざらにセットしてください。**
- ●**置台と油受けざらの隙間のほこり、ごみを取りのぞいてください。**

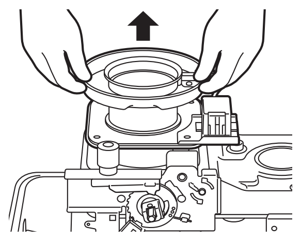


6 しん調節器の蝶ナット4本を、取りはずしてください。

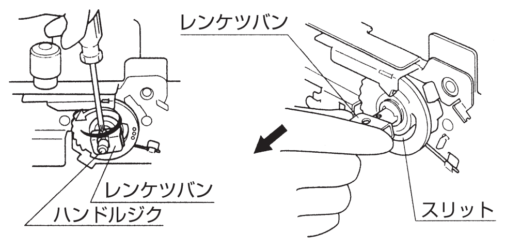
- ●**蝶ナットが回しにくい場合は下図のようにドライバーなどを使って、回して取りはずしてください。**



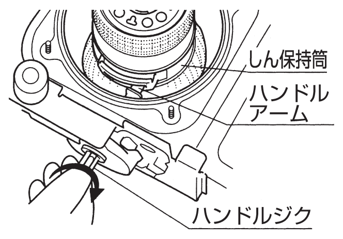
7 しん調節器を、ゆっくりと上へ持ち上げて取りはずしてください。



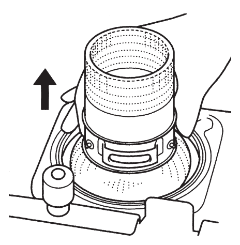
8 ハンドルジクに固定してあるレンケツバンの止めねじ1本を取りはずし、レンケツバンを取りはずします。


レンケツバン
レンケツバン
ハンドルジク
スリット

9 ハンドルジクを右方向「↻」に必ず止まるまで回して、しん保持筒が最大まで上がった後にハンドルアームをしん保持筒の溝よりはずします。

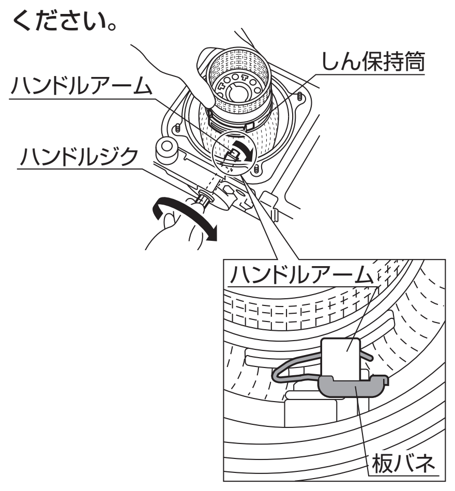

しん保持筒
ハンドルアーム
ハンドルジク

10 ハンドルジクを右に止まるまで回しきったまま、しん保持筒を持って上に持ち上げて取りはずしてください。

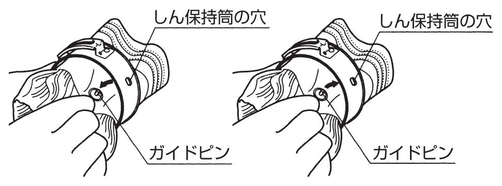


お願い

ハンドルアームに板バネが取り付けてある場合は、しん保持筒があたらないように注意してください。また、しん下部がバネにからまないようにも注意してください。

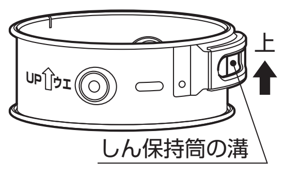

しん保持筒
ハンドルアーム
ハンドルジク
ハンドルアーム
板バネ

11 古いしんを4つ折りにするようにして、しんのガイドピン（3箇所）をしん保持筒からはずし、しんを下へ引き抜いてください。
新しいしんを、軽く4つ折りにするようにして、しんのガイドピンを、しん保持筒の穴(3箇所)に差し込んでください。

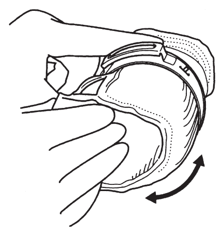

しん保持筒の穴
しん保持筒の穴
ガイドピン
ガイドピン

お願い

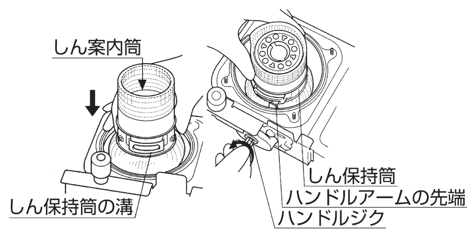
しん保持筒には上下がありますので刻印を確認して間違えないようにしてください。



12 しんを、しん保持筒の内側に指で押しつけてなつかせてください。充分になつかせないと、対震自動消火装置が作動したときに、しんが下がらないことがあります。



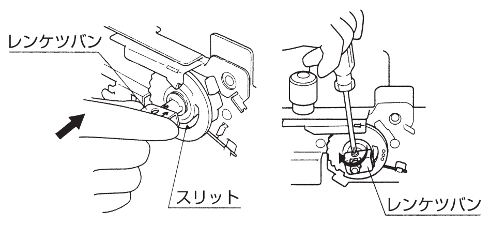
13 ハンドルジクを右方向(↻)に止まるまで回してから、しん案内筒に、しん保持筒を取り付けたしんを差し込んで、しん案内筒になつかせてください。
しん保持筒の溝に、ハンドルジクを左方向(↺)に回しながらハンドルアームの先端を差し込み、ハンドルジクを止まるまで左方向（↺）に回してしんを下げてください。


しん案内筒
しん保持筒の溝
しん保持筒
ハンドルアームの先端
ハンドルジク

お願い

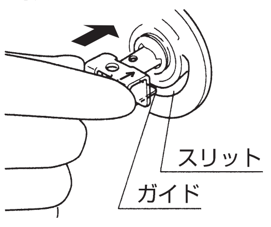
ハンドルアームに板バネが取り付けてある場合は、取りはずす時と同様にしん保持筒としん下部に注意してください。

14 ハンドルジクを左方向に完全に止まるまで回して、芯が完全に下がった状態にしてからレンケツバンをハンドルジクに通して差し込み、レンケツバンを支持しながら止めねじ1本で固定してください。

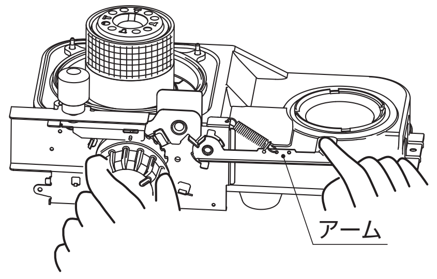

レンケツバン
スリット
レンケツバン

お願い

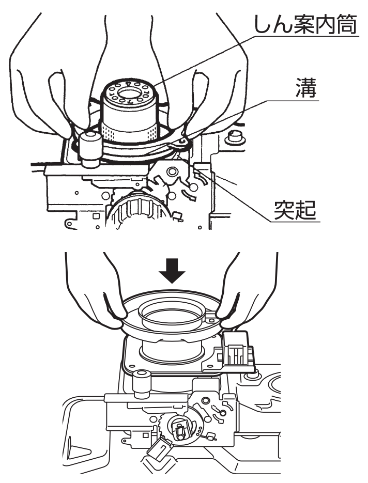
レンケツバンは、ガイドをスリットに差し込んで固定してください。



15 ハンドルジクにしん調節つまみを取り付けて、しんの上下がスムーズに動くか確認してください。
給油時消火装置のついている機器はアームを指で押し下げて確認してください。

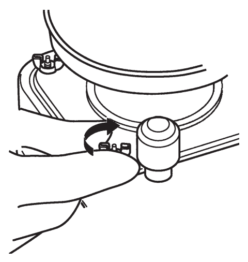


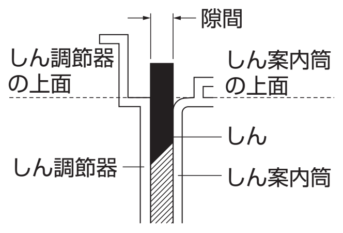
16 しん調節器パッキンの溝が、油受けざらの突起に確実に入っていることを確認してから、しん調節器をしん案内筒にかぶせてください。



17 しん案内筒としん調節器のすき間が全周揃っている所で、11ページ**6**項ではずしたしん調節器の蝶ナット4本を、対角線上の各々2本づつ均等に締めてください。
片側のみを締め付けるのではなく、4本を均等に徐々に締めてください。
しん調節器の上面としん案内筒の上面の高さが、揃っていることを確かめてください。

- ●揃いが悪いと炎が片寄ってしまいます。

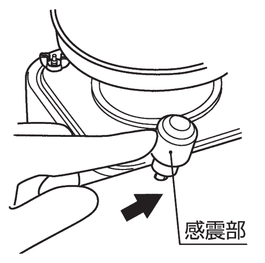



隙間
しん調節器の上面
しん案内筒の上面
しん
しん調節器
しん案内筒

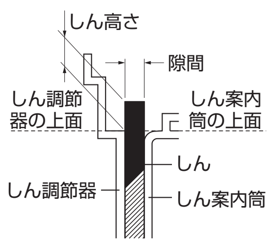
18 **「感震部」**を押して、対震自動消火装置を作動させ、しんがスムーズに確実に下がるかどうか、2～3回確認してください。

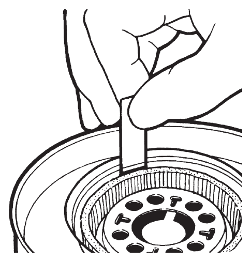
お願い

しんの上下がスムーズでない場合は、13ページ12項からやり直してください。



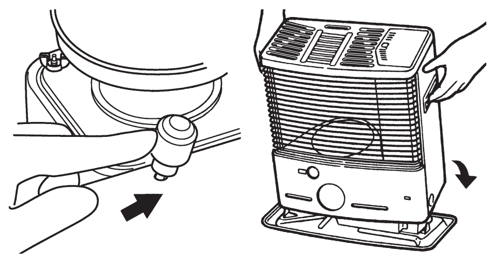
19 しんの高さは、22ページ **各型式のしんの高さ** 一覧表を参照してください。22ページに、しんの高さを確認しやすいゲージがついています。しんの高さが、均一に揃っていることを確かめてください。



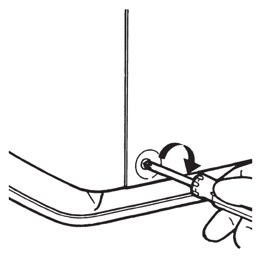


- ●しん上端の糸のほつれ等は、はさみなどで切り揃えてください。

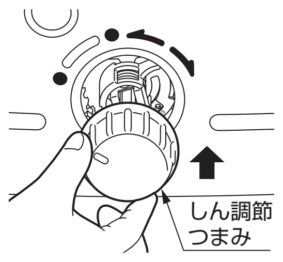
20 **「感震部」**を押して、対震自動消火装置を作動させ、しん調節つまみを引き抜いてから、本体を前方に傾けながら、ゆっくりとかぶせてください。

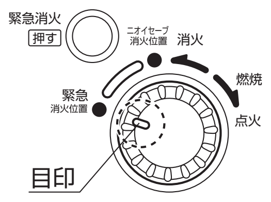


21 本体の両側面と背面を、止めねじ(3本)で固定してください。

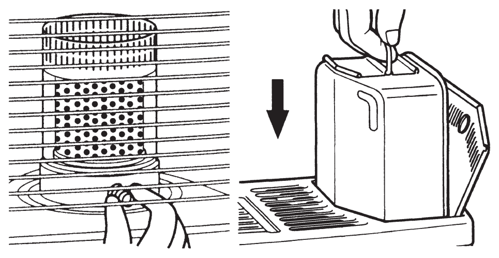


22 しん調節つまみの目印を**「緊急消火位置」**に合わせて、取り付けてください。





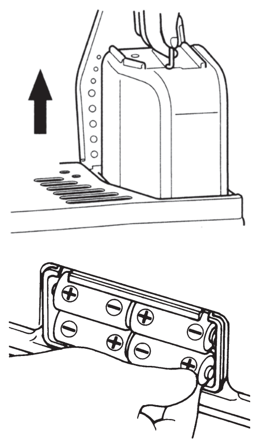
23 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じて、油タンクを入れてください。乾電池を電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。



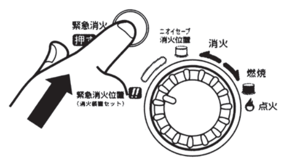
24 油タンクに給油してから20分以上待ってしんに灯油が充分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。

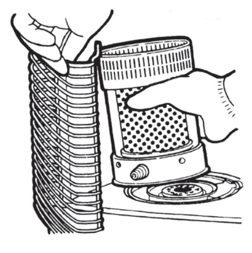
適合する機器の型式表 の 参照 ⑤ の機種

1 油タンクと、電池ケースから乾電池を取り出してください。

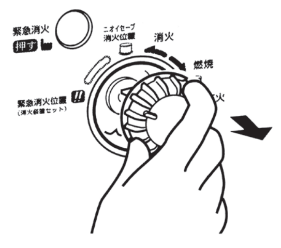


2 **「緊急消火ボタン」**を押して、対震自動消火装置を作動させてから、ガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。

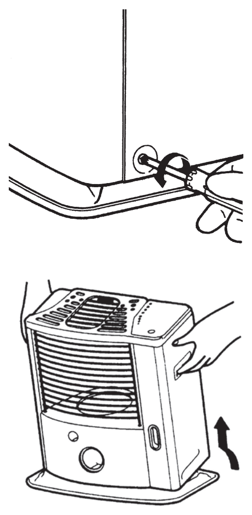




3 しん調節つまみを引き抜いてください。

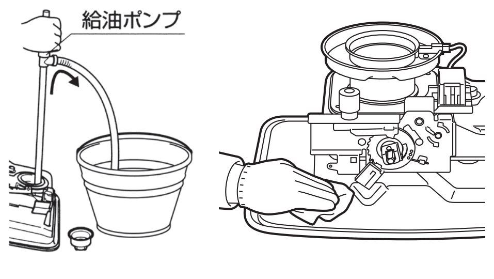


4 本体の両端側と背面にある止めねじ3本を、左に回して取りはずしてください。本体を前方に傾けながら、ゆっくりと上方に持ち上げて取りはずしてください。



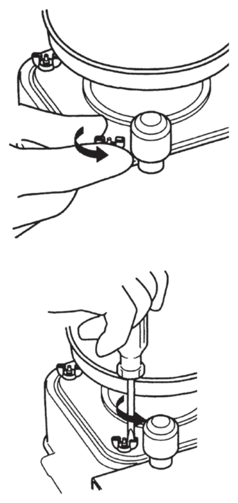
5 油受けざらにある油受けを取りはずし、市販の給油ポンプで、油受けざら内の灯油を抜き取ってください。

- ●**残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。**
- ●**取りはずした油受けを元通りに油受けざらにセットしてください。**
- ●**置台と油受けざらの隙間のほこり、ごみを取り除いてください。**

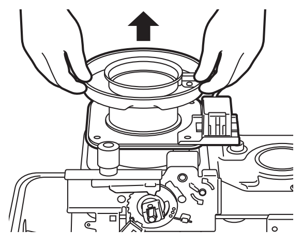


6 しん調節器の蝶ナット4本を、取りはずしてください。

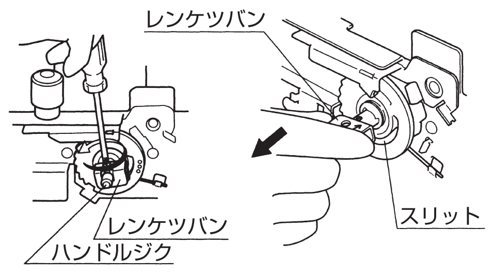
- ●**蝶ナットが回しにくい場合は下図のようにドライバーなどを使って、回して取りはずしてください。**



7 しん調節器を、ゆっくりと上へ持ち上げて取りはずしてください。

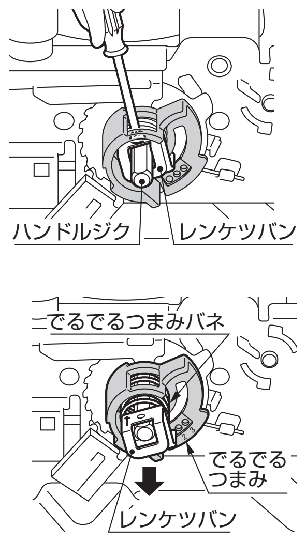


8 ハンドルジクに固定してあるレンケツバンの止めねじ1本を取りはずし、レンケツバンを取りはずします。

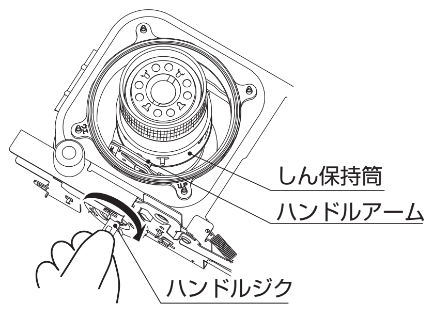

レンケツバン
レンケツバン
ハンドルジク
スリット

■RS-S29D・S29E、NT-S29C・S29Dの場合

ハンドルジクに固定してあるレンケツバンの止めねじ1本を取りはずし、レンケツバン、でるでるつまみバネ、でるでるつまみを順に取りはずします。


ハンドルジク
レンケツバン
でるでるつまみバネ
でるでるつまみ
レンケツバン

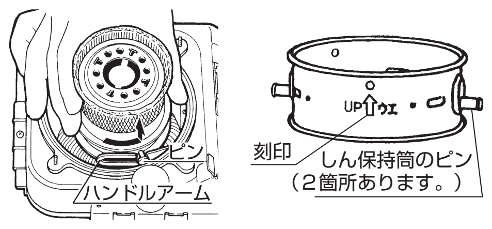
9 ハンドルジクを右方向「↻」に必ず止まるまで回して、しん保持筒を最大まで上げてください。


しん保持筒
ハンドルアーム
ハンドルジク

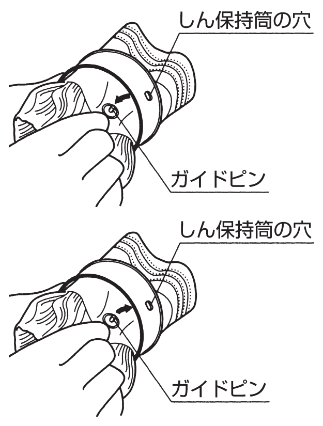
10 しん保持筒を持って、ハンドルアームの溝から、しん保持筒のピン(前後に2箇所あります。)を左(↺)に回して取りはずしてください。

お願い

抜け止めのために、少し重い箇所がありますので、指を滑らせてケガをしないように、慎重におこなってください。

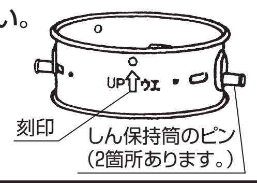


11 古いしんを4つ折りにするようにして、しんのガイドピン(3箇所)をしん保持筒からはずし、しんを下へ引き抜いてください。
新しいしんを、軽く4つ折りにするようにして、しんのガイドピンを、しん保持筒の穴(3箇所)に差し込んでください。

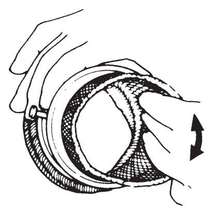

しん保持筒の穴
ガイドピン
しん保持筒の穴
ガイドピン

お願い

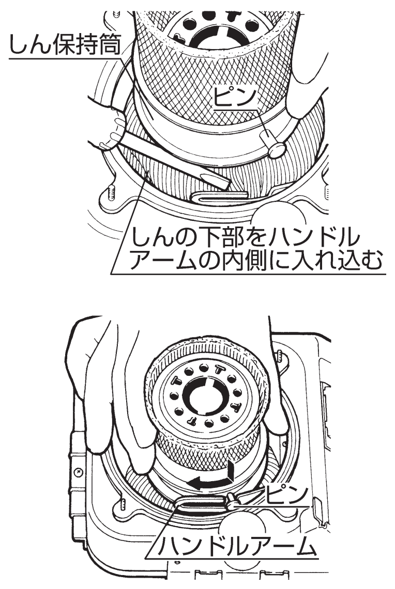
しん保持筒には上下がありますので、刻印を確認して、間違えないようにしてください。



12 しんを、しん保持筒の内側に指で押しつけてなつかせてください。充分になつかせないと、対震自動消火装置が作動したときに、しんが下がらないことがあります。

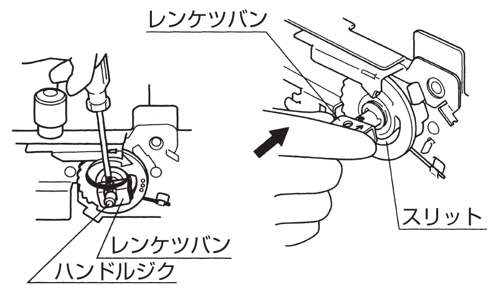


13 ハンドルジクを右方向(↻)に止まるまで回してから、しん案内筒に、しん保持筒を取り付けたしんを差し込んで、しん案内筒になつかせてください。
ハンドルアームの溝(前後2箇所)に、しん保持筒のピン(前後2箇所)を右(↻)に回してはめ込んでください。


しん保持筒
ピン
しんの下部をハンドルアームの内側に入れ込む
ピン
ハンドルアーム

- ●**しんの下部をハンドルアームの内側に入れ込んでください。**

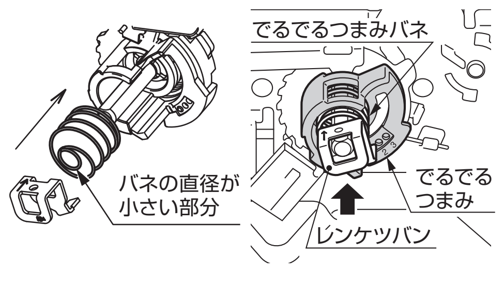
14 ハンドルジクを左方向に完全に止まるまで回して、芯が完全に下がった状態にしてから、レンケツバンをハンドルジクに通して差し込み、レンケツバンを支持しながら止めねじ1本で固定してください。

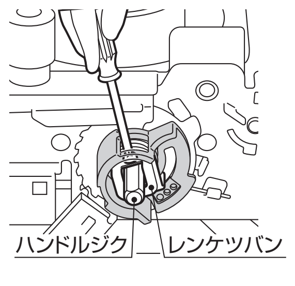

レンケツバン
レンケツバン
ハンドルジク
スリット

■RS-S29D・S29E、NT-S29C・S29Dの場合

でるでるつまみ、でるでるつまみバネを組み付けてから、レンケツバンをハンドルジクに通して差し込み、レンケツバンを支持しながら止めねじ1本で固定してください。

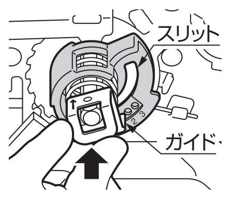
- ●でるでるつまみは「1」の位置にセットしてください。


でるでるつまみバネ
バネの直径が小さい部分
でるでるつまみ
レンケツバン

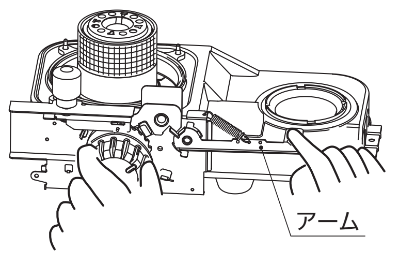

ハンドルジク
レンケツバン

お願い

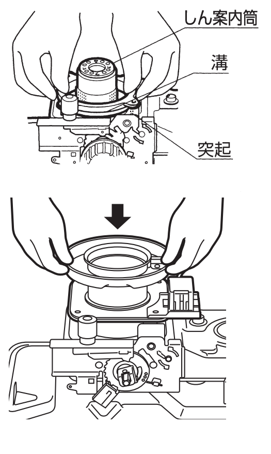
レンケツバンは、ガイドをスリットに差し込んで固定してください。



15 ハンドルジクにしん調節つまみを取り付けて、しんの上下がスムーズに動くか確認してください。
給油時消火装置のついている機器はアームを指で押し下げて確認してください。

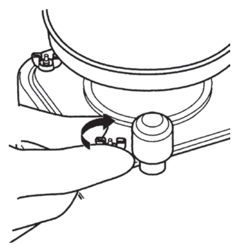


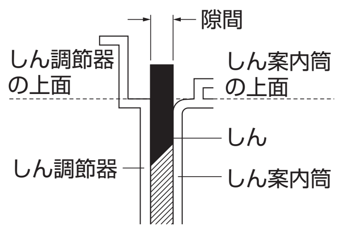
16 しん調節器パッキンの溝が、油受けざらの突起に確実に入っていることを確認してから、しん調節器をしん案内筒にかぶせてください。



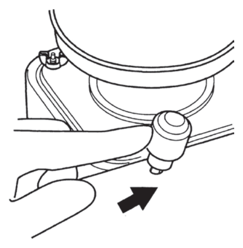
17 しん案内筒としん調節器のすき間が全周揃っている所で、17ページ**6**項ではずしたしん調節器の蝶ナット4本を、対角線上の各々2本づつ均等に締めてください。
片側のみを締め付けるのではなく、4本を均等に徐々に締めてください。
しん調節器の上面としん案内筒の上面の高さが、揃っていることを確かめてください。

- ●**揃いが悪いと炎が片寄ってしまいます。**

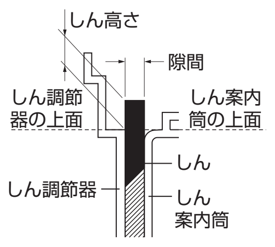


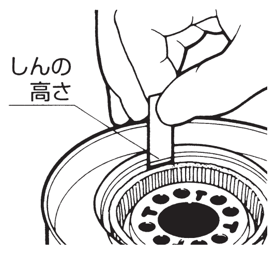

隙間
しん調節器の上面
しん案内筒の上面
しん
しん調節器
しん案内筒

18 「感震部」を押して、対震自動消火装置を作動させ、しんがスムーズに確実に下がるかどうか、2～3回確認してください。



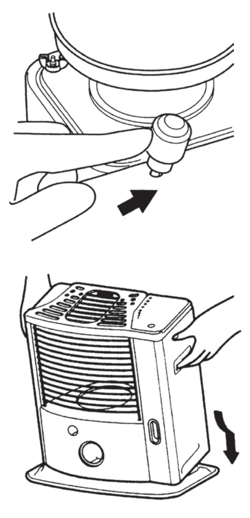
19 しんの高さは、22ページの **各型式のしんの高さ** を参照してください。
しんの高さが、均一に揃っていることを確かめてください。



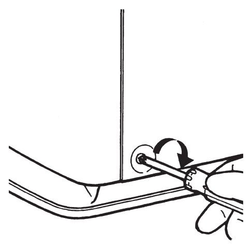


- ●**しん上端の糸のほつれ等は、はさみなどで切り揃えてください。**

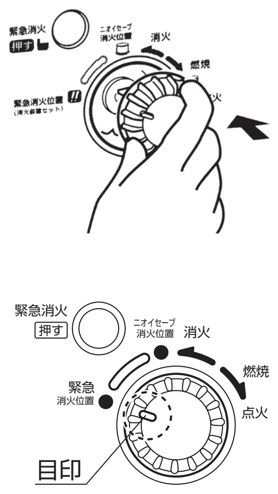
20 「感震部」を押して、対震自動消火装置を作動させ、しん調節つまみを引き抜いてから、本体を前方に傾けながら、ゆっくりとかぶせてください。



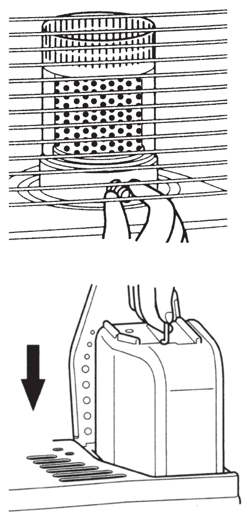
21 本体の両側面と背面を、止めねじ(3本)で固定してください。



22 しん調節つまみの目印を**「緊急消火位置」**に合わせて、取り付けてください。

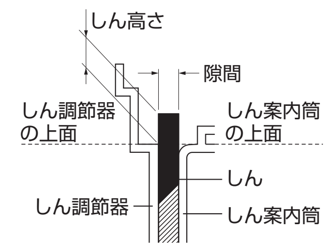


23 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じて、油タンクを入れてください。乾電池を電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。



24 油タンクに給油してから20分以上待ってしんに灯油が充分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。

各型式のしんの高さ

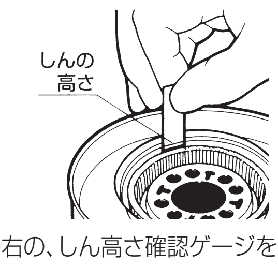


■下表の、しん高さの寸法は、

- ●しんを、いっぱいに上げた高さです。
- ●**でるでるつまみ**の機能がついているものは、しん高さ調節つまみ（でるでるつまみ）を①にして、しんをいっぱいに上げた高さです。
- ★**下欄に、しん高さを確認するゲージがついています。しん高さが均一に揃っていることを確認してください。**

型　　式	しん高さ
RCA-70、RCA-200・201・202、 RCA-261、RCA-371	6㎜
RCA-71・72・74・75・76、 RCA-203・204・205・206・207・208・262、 RCA-300・301・372、 RC-266PC・267S・269S・261S・2601・283S・P235E、 RS−H27・H293E・H295E・H297E・H298E・H299E・H29B・H29C・H29D・H29E・L21・921、 KRS-L21・211・H297E、R-50・51、R-265・266、CR-180、CS-21、 NT-181・182・183・184・185・186・187・188・189・ P1801・P1802・1800・21、 KGP-21・1800、KR-266、KS-L21、BRS-210、 UT-L21、PS-K21、HRS-L21・234	8㎜
RS-D298E・D299E・S29A・S29B・S29C・S29D・S29E、NT-S29C・S29D	9㎜
RCA-263・264・373・374、R-375、RS-L27・293、 KRS-L27、KR-375、NT-231～237、KGP-27・2300、 PS-234JIK・235JIK・238JIK・27AJIK・K27、RS-D294	10㎜

■しん高さの確認のしかた



●右の、しん高さ確認ゲージを使用して、しんが規定の高さに均一に揃っていることを確認してください。

■しん高さ確認ゲージ

しんの高さを測るときは下図を破線の部分で切り取ってください。